

■効果の見える治水事業  
福井ダム堰堤改良事業



徳島県 南部総合県民局 県土整備部  
部長 神野 忠

○福井ダムの概要

福井川は、阿南市と美波町の境に源を發し、阿南市福井町を貫流して橋湾に注ぐ流路延長1.4km、流域面積33.7km<sup>2</sup>の二級河川です。

この地域は徳島県においても多雨地域で、台風期以外でも他に例をみない豪雨があり、下流では大きな浸水被害が発生していました。また一方では、しばしば干ばつに見舞われ、用水不足を来たしてきたことから、これらの問題を解決するために、福井ダムが平成7年度に完成しました。

- (1) 目的 洪水調節、流水の正常な機能の維持
- (2) 経過 平成2年3月着工  
平成8年3月竣工
- (3) 位置 阿南市 福井町 鉦打
- (4) 河川名 二級河川 福井川水系福井川
- (5) 諸元 重力式コンクリートダム  
堤 高： 42.5m  
堤 体 積： 74,000m<sup>3</sup>  
総貯水容量：4,750,000m<sup>3</sup>



(6) 洪水調節 自然調節方式により、ダム地点における計画高水流量540m<sup>3</sup>/sのうち470m<sup>3</sup>/sを調節し、70m<sup>3</sup>/s（最大100m<sup>3</sup>/s）を放流

○事業の必要性・効果

福井ダムは平成7年度の管理開始以降、適宜管理設備の点検や補修などを行い、適正な維持管理を実施してきたところですが、20年を経過し、設備の期待寿命も過ぎたことから、現在、堰堤改良事業によるダム情報処理設備・放流設備等の改良等を行い、ダム管理の適正化及び効率化を図っております。

○事業の概要

- 全体事業費 665百万円
- 事業期間 平成25年度～平成30年度
- 工事概要
  - ・ダム管理用制御処理装置改良
  - ・テレメータ・放流警報設備改良
  - ・受電・非常用電源設備改良

ダム情報処理設備の改良は昨年度終了し、今年度は、テレメータ放流警報設備の工事に着手する予定です。



■効果の見える治水事業  
福井川の河川整備について



阿南市長 岩浅嘉仁

○福井川の河川状況

阿南市は、徳島県の東南部、那賀川（1級河川）の河口に位置しており、東は紀伊水道、南は太平洋に面し、西は太龍寺山（602m）及び鶴林寺によって四国山系の東端に連なり、人口は7万4千人余で、県南部の産業、経済、文化の中心都市です。

市域は、東西約3.2km、南北約2.2kmであり、総面積は279.25km<sup>2</sup>（平成27年10月1日現在）で、県内第5位の広さとなっております。

主要な河川は、那賀川、桑野川、福井川があり、これらはいずれも阿南市内を蛇行し、紀伊水道に流れこんでいます。阿南市は県内でも降雨の多い地域であり、その中でも福井川流域は日本有数の多雨地域で、昭和27年3月に観測された1時間の降雨量167mmは当時の日本記録となっております。

直近の豪雨は、平成26年8月2日から4日の台風12号の接近により、福井川の水位が上昇し、福井川流域230世帯600人に避難指示を発令する事態となり、床上・床下浸水等の被害を受けることとなりましたが、幸い人的被害は免れることができました。これは、一重にダム設置による水位低減効果及び避難対策等ソフト面での迅速な防災対策効果の現れであると確信しております。

今後も浸水被害の未然防止のためには、既存河川管理施設の有効活用と洪水ハザードマップの作成・周知等のソフト面を充実することで、一体的な効果が発揮され、一日も早く安心・安全に暮らせる住環境整備の構築を図りたいと考えております。



○福井川大西地区排水対策事業

福井町大西、湊地区の浸水対策のため建設を進めていた「大西ポンプ場」が平成28年7月に完成しました。このポンプ場は福井川に架かる大西橋の南側にあり、2台のポンプで毎秒1トンの水を福井川に排水できます。

また、大西ポンプ場の下流には毎秒3トンの水を排出できる湊排水機場（平成12年稼働）があり、両施設を併用していくことで、豪雨で行き場を失った水が市街地などにあふれる「内水氾濫」を抑えます。

